



平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 7 月 31 日

上場会社名 東芝機械株式会社

コード番号 6104

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 飯村 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 高木 慎司

四半期報告書提出予定日 平成 24 年 8 月 10 日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

URL <http://www.toshiba-machine.co.jp>

(TEL) 055(926)5141

配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 3 月期第 1 四半期	31,959	21.3	2,888	81.4	3,467	87.5	2,303	76.1
24 年 3 月期第 1 四半期	26,341	48.6	1,591	-	1,849	-	1,308	-

(注) 包括利益 25 年 3 月期第 1 四半期 2,470 百万円 (62.3%) 24 年 3 月期第 1 四半期 1,522 百万円 (-%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25 年 3 月期第 1 四半期	15.15	-
24 年 3 月期第 1 四半期	8.60	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25 年 3 月期第 1 四半期	140,908	72,893	51.7
24 年 3 月期	142,297	71,101	50.0

(参考) 自己資本 25 年 3 月期第 1 四半期 72,893 百万円 24 年 3 月期 71,101 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 3 月期	-	4.00	-	5.00	9.00
25 年 3 月期	-	-	-	-	-
25 年 3 月期(予想)	-	4.50	-	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 3 月期の連結業績予想 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	63,000	9.4	3,800	3.7	4,500	14.5	2,700	△18.4	17.76
通期	128,000	7.1	8,000	7.9	9,000	0.6	5,800	△13.7	38.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名 - ）、除外 - 社（社名 - ）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	166,885,530株	24年3月期	166,885,530株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	14,852,854株	24年3月期	14,852,644株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	152,032,729株	24年3月期1Q	152,034,260株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①平成25年3月期 第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループをとりまく経済情勢は、海外市場は東南アジア等の新興国および北米での需要は継続したものの、欧州の財政・金融問題や中国の経済成長鈍化等の影響を受け、先行き不透明な状況で推移しました。一方、国内市場は輸出産業が長期化する円高の打撃を受け、一部には東日本大震災の復興需要は見られたものの、設備投資の回復には至っておりません。機械業界におきましても、アジアをはじめとする新興国や北米の需要がありましたが、全体的に軟調に推移しました。

このような経済環境のもとで、当社グループは3年目となる中期経営計画「TM AC Plan III」(Toshiba Machine Adapt to the Change Plan III)を平成24年4月1日からスタートさせ、前連結会計年度に続き「先進と拡張」を基本コンセプトとして諸施策を実行し、国内外市場向けの新商品開発、市場の開拓、受注の確保、財務体質の改善等に全力をあげブランド力の向上に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の受注高は、271億4千9百万円(前年同期比9.5%減)となりました。一方、前連結会計年度の新興国や北米での堅調な設備投資の需要を受け、売上高は、319億5千9百万円(前年同期比21.3%増)となりました。

損益につきましては、成形機事業・工作機械事業などの貢献に加え、技術・生産ノウハウの深耕および経営全般にわたる合理化努力をしまりました結果、営業利益は、28億8千8百万円(前年同期比81.4%増)、経常利益は、34億6千7百万円(前年同期比87.5%増)、四半期純利益は、23億3百万円(前年同期比76.1%増)となりました。

②セグメント別の概況

成形機事業(射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など)

射出成形機は、中国、東南アジア等の新興国および北米の自動車・家電関連業界向けを中心とした堅調な需要が続きました。ダイカストマシンは、中国、東南アジア等の新興国および北米の二輪、自動車関連業界向けに堅調な需要が続きました。押出成形機は、国内外の二次電池や光学関連業界向けに需要がありますが、経済の先行き不透明な状況下、シート・フィルムの需要が低迷しました。

この結果、成形機事業全体の売上高は、201億7千2百万円(前年同期比40.2%増)、営業利益は、20億4千3百万円(前年同期比134.6%増)となりました。

工作機械事業(大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤、精密加工機など)

工作機械は、東南アジア等の新興国および北米のエネルギー・重電、建設機械、産業機械関連業界向けを中心とした需要が続きましたが、中国の需要が減少しました。精密加工機は、中国の需要低迷等の影響を受けました。

この結果、工作機械事業全体の売上高は、63億6千4百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は、6億3千9百万円(前年同期比77.3%増)となりました。

油圧機器事業

油圧機器事業は、主な供給先である建設機械の需要が東南アジアや北米および日本で継続しましたが、中国での減少が影響し、業績が伸び悩みました。

この結果、油圧機器事業の売上高は、30億3千7百万円(前年同期比7.6%減)、営業利益は、8千5百万円(前年同期比74.1%減)となりました。

その他の事業(電子制御装置など)

電子制御装置は、国内外の工作機械、産業機械関連業界の需要がありましたが、中国向けの需要が減少しました。

この結果、その他の事業全体の売上高は、31億2千万円(前年同期比0.6%増)、営業利益は、6百万円(前年同期は営業損失5千8百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ13億8千9百万円減少し、1,409億8百万円となりました。減少の主な内訳は、仕掛品が15億5百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が33億8百万円減少したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ31億8千2百万円減少し、680億1千4百万円となりました。減少の主な内訳は、未払法人税等が19億1千万円、未払費用が11億2千8百万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ17億9千2百万円増加し、728億9千3百万円となりました。増加の主な内訳は、利益剰余金が16億2千7百万円増加したこと等によります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は51.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境は、欧州の財政・金融問題の長期化、新興国の成長鈍化、円高、電力不足問題、さらに国内外企業との競争激化など予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような情勢の中、当社グループは有望な新市場の開拓、市場ニーズにあった新製品の投入、ブランド力の向上、さらなる効率化により確固たる経営基盤を構築し、収益確保に努めてまいります。

第2四半期連結累計期間および通期の業績につきましては、平成24年4月27日に公表いたしました業績予想を変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,689	18,481
受取手形及び売掛金	45,730	42,422
有価証券	13,500	18,500
商品及び製品	5,007	3,697
仕掛品	21,287	22,792
原材料及び貯蔵品	80	74
繰延税金資産	3,158	2,557
その他	1,895	1,516
貸倒引当金	△173	△208
流動資産合計	111,174	109,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,247	34,329
減価償却累計額及び減損損失累計額	△23,429	△23,626
建物及び構築物（純額）	10,818	10,702
機械装置及び運搬具	30,219	30,141
減価償却累計額及び減損損失累計額	△26,838	△26,887
機械装置及び運搬具（純額）	3,381	3,254
土地	6,203	6,204
リース資産	139	145
減価償却累計額及び減損損失累計額	△76	△84
リース資産（純額）	63	61
建設仮勘定	188	102
その他	6,894	7,147
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,429	△6,538
その他（純額）	465	609
有形固定資産合計	21,120	20,934
無形固定資産		
その他	434	445
無形固定資産合計	434	445
投資その他の資産		
投資有価証券	8,423	8,613
長期貸付金	84	78
繰延税金資産	446	436
その他	661	612
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	9,567	9,694
固定資産合計	31,123	31,074
資産合計	142,297	140,908

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,675	30,079
短期借入金	12,110	17,935
未払法人税等	2,616	706
未払費用	5,562	4,434
製品保証引当金	350	397
その他	5,040	5,576
流動負債合計	56,355	59,131
固定負債		
長期借入金	6,100	—
長期未払金	42	42
繰延税金負債	324	312
退職給付引当金	8,237	8,394
役員退職慰労引当金	50	50
資産除去債務	50	50
その他	35	33
固定負債合計	14,841	8,883
負債合計	71,196	68,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,484	12,484
資本剰余金	19,600	19,600
利益剰余金	49,408	51,035
自己株式	△10,039	△10,039
株主資本合計	71,454	73,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,530	1,269
繰延ヘッジ損益	△12	—
為替換算調整勘定	△1,871	△1,457
その他の包括利益累計額合計	△353	△187
純資産合計	71,101	72,893
負債純資産合計	142,297	140,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	26,341	31,959
売上原価	19,275	22,874
売上総利益	7,066	9,085
販売費及び一般管理費	5,474	6,196
営業利益	1,591	2,888
営業外収益		
受取利息	9	12
受取配当金	53	110
受取賃貸料	43	43
持分法による投資利益	384	780
その他	32	39
営業外収益合計	524	987
営業外費用		
支払利息	49	55
手形売却損	2	—
為替差損	6	160
退職給付会計基準変更時差異の処理額	115	115
その他	92	75
営業外費用合計	267	408
経常利益	1,849	3,467
特別利益		
固定資産売却益	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産処分損	2	1
投資有価証券評価損	—	2
特別損失合計	2	3
税金等調整前四半期純利益	1,846	3,467
法人税、住民税及び事業税	167	426
法人税等調整額	371	737
法人税等合計	538	1,163
少数株主損益調整前四半期純利益	1,308	2,303
四半期純利益	1,308	2,303

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,308	2,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	△260
繰延ヘッジ損益	△0	12
為替換算調整勘定	174	414
その他の包括利益合計	213	166
四半期包括利益	1,522	2,470
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,522	2,470
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	成形機	工作機械	油圧機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,385	6,189	3,235	23,810	2,531	26,341	—	26,341
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	33	49	83	569	653	(653)	—
計	14,385	6,222	3,285	23,893	3,101	26,994	(653)	26,341
セグメント利益または 損失(△)	870	360	328	1,560	△58	1,501	90	1,591

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子制御装置等の事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益または損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注3) セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	成形機	工作機械	油圧機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,172	6,339	3,005	29,517	2,441	31,959	—	31,959
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	25	31	56	678	735	(735)	—
計	20,172	6,364	3,037	29,574	3,120	32,694	(735)	31,959
セグメント利益	2,043	639	85	2,768	6	2,774	113	2,888

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子制御装置等の事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。